の供給は欧米各国に比べて立 る一方、サービス付きの住宅 と連携して高齢者を支援する が増加しており、介護・医療 齢の単身者や夫婦のみの世帯 サービスを提供する住宅を確 保することが極めて重要であ 高齢化が急速に進む中、高 せるという国の供給施策であ 年10月に創設された。20年ま 交通省・厚生労働省の共管制 向け住宅(サ高住)」が国土 での10年間で60万戸を普及さ 度として2011 (平成23) 国が補助金を出し、税金を

> したサ高住の数が全国で約2 までに廃業や登録取り消しを なニュースが流れた。 60件にも上るという衝撃的 しかし、その一方で、これ

業してしまうというのは、入 した高齢者住宅がいきなり廃 せっかく安心を求めて入居

982(昭和57)年岐阜銀



会対策推

さいとう・のぶひろ 1 11) 年シ 99 行入行、 ルバー社 001 (同13) 年城東支店 進室シルバー業務課長、2 G―VECを設立、現在に 長などを経て、04年岐阜銀 至る。60歳。桑名市出身。 行の社内ベンチャーとして



20年に60万戸普及目標も

### 廃業や登録取り消し 260 件

居する高齢者とその家族にと 業種参入であった。市場調査 や事業計画の作成はお手のも

井市のJR高蔵寺駅前に「サ ってはたまったものではな 弊社も平成25年9月、春日 ても生活の不便さは全くな い。マーケットとしてはこれ のである。ロケーションとし

分に漏れず金融機関からの異 高住」 をオープンした。 ご多 以上のものはないと踏んだ。 しかし、現在に至るまでに

供する「サービス付き高齢者

374戸が整備された。

**齢者を支援するサービスを提** を有し介護・医療と連携し高 として、バリアフリー構造等 の安定を確保することを目的

参入が後を絶たなかった。創

で、異業種からの「サ高住」 したのが一番の大きな理由

設から昨年末までの6年2カ

月のあいだに、全国に22万5

ち後れているのが現状であっ

優遇するなどして建設を推進

た。このため、高齢者の居住

方々のために弊社が を繰り返してきた。 の参入を検討される は多くの失敗と挫折 冒した失敗を露わに そこで、「サ高住

クを共有することで、失敗し し、そして我々が抱えるリス 方法を伝授することにしまし ないための「サ高住」運営の (齊藤伸宏G―VEC社長) =毎週火曜日に掲載=

1日現在1億2693万人と 我が国の総人口は、昨年10月 転じている一方で65歳以上の なっており、総人口が減少に 高齢社会白書」によると 独世帯(1人暮らし)または 年には39%となっており、単 夫婦のみの世帯が約6割にな っている。 次に、高齢者世帯の平均所

同居率が2015(平成27) 年にほぼ7割だった子供との を続けると見込まれている。 77万人に達すると見込ま 上となる2025年には36 増加を続けている。さらに ついては、1980(昭和55) れ、特に大都市圏周辺で増加 高齢者人口は<br />
3459万人と 団塊の世代」が全員75歳以 また、高齢者の家族形態に め」となっており、貯蓄を取 世帯主の年齢が60歳以上の高 る。また、貯蓄額については、 る割合が80%以上となってい となっており、総所得に占め 得については297・3万円 なっている。貯蓄の目的につ あり全世帯比べて高い水準と 齢者世帯では1592万円で いては、「万一の備えのため 普段の生活を維持するた

> じている。 り崩すこと自体には不安を感 2215人をピークに減少傾 向にあり2016年4月1日

> > 厚生労働省が昨年度に実施

男女とも「自宅で介護してほ 受けたいか」についてみると、 になった場合、どこで介護を 常生活を送る上で介護が必要 次に、介護について、「日

しい」人が最も多い。最期を 機構(UR)の集合住宅が建 高齢者という状況である。

率は30~36%で3人に1人が ているが、65歳以上の高齢化 現在で4万6698人となっ ニュータウンには都市再生

も大きな課題の一つになって の87・5%が要支援・要介護 る調査結果によると、入居者 したサ高住の入居者像に対す ぼっており、重度化への対応 3以上は全体の30・9%にの の認定を受けている。要介護

介護の重度化対応も課題 増え続ける65歳以上人

迎えたい場所は 「自宅」が半 ち並び、そこに住む人々にも 己負担や毎日の食費、生活費

数を超える。 も同様の高齢者事情である。 住』のある春日井市高蔵寺町 つ「高蔵寺ニュータウン」 弊社がオープンした。サ高 日本の三大ニュータウンの 世帯(1人暮らし)または夫 者である。そして多くが単独 そのほとんどが厚生年金受給 比較的裕福な層の人が多く、 特徴がある。かつては名古屋 市内の大手企業などに勤める などが加わってくる。それな 族のニーズに応えられていな ないため、多くの高齢者・家 りの貯蓄や収入が無いと入れ いという声も少なくない。 (齊藤伸宏G―VEC社長)

月額10・1万円。こ 査では、サ高住の入 居費用の全国平均は れに医療・介護の自 また、国交省の調

いる。

婦のみの世帯である。 =毎週火曜日に掲載

は、人口が1995年の5万



ータウンに住む人たちは、時 も考えられる。つまり、ニュ たちの特徴が関係していると その背景にはここに住む人 いったことがある。そして、 世代の子どもたち、団塊ジュ る。減少の一因には、団塊の 5年をピークに減少してい ュータウンの人口は199 ーケットとして捉えていた。 年にオープンしたサ高住は 前回にも記したが、高蔵寺ニ ニアが独立して地元を離れて 高蔵寺ニュータウン」をマ 弊社が、2013(平成25) 代の先端を行く住宅に住も ンに居着いた若者たちであっ め、家庭をもってニュータウ 飛び出し、大都市の企業に勤 そう思う住人たちもかつて うというリベラルな考えを持 羽ばたいていった。しかし、 柔軟で自由な発想を持ってい は、高度経済成長期に地方を ちも活躍の場を求めて自由に の考えがあるから、子どもた に留まる必要はない」くらい つ人たち。 子育てに関しても 「能力があるのならここ

> には、入居者募集の大きな看 ようというのに入居者は3 なく来るのに何かがおかし 板も掲げた。見学者は絶え間 人れ高蔵寺駅前のロータリー へ。新聞にオープンチラシを 母親が1人暮らしをしている のでここに入居させたい。軽 良、浜松、熊本、岐阜に住む 年齢は93歳。続けて秋田、奈 い認知症だが元気だ」という。 齢者と位置付けたことがその

オープンから1カ月経過し

続けて「名古屋市内に住む

おいて、65歳以上の人々を高

1人暮らしの親が入居した。 由来と言われている。当時、

絶え間ない見学者・・・

ンションの住人が見学にき い。サ高住の向かいにあるマ 人である。

らしをしている。昨年、母を の入居者である。82歳だが元 れてきたい」という。第1号 た。「神戸に住む父が1人暮 亡くして心配だからここに連 の人を「高齢者」としたのは 基準は0歳以上の高齢者とさ れている。もともと65歳以上 は無理がある。サ高住の入居 1959年の国連の報告書に 高齢者を一絡げに捉えるに

気である。

失敗だらけの船出 家族は皆ニュウータウンの住せよ、高齢者扱いすること、 がその後、半世紀以上にわた 約10人に1人が65歳以上だっ の入居者となるのであろう いていた人は少なくない。 って世界共通の認識として使 またされることに違和感を抱 た時代に区分された取り扱い これらの方々が「サ高住」 る。個人差はあるに り、が確認されてい 用され続けてきたと は身体機能の『若返 いうことになる。」 かし、日本の高齢者

(齊藤伸宏G―VEC社長) 



サービス付き高齢者向け住宅 調査研究の報告書によると、 い事業者の運営実態に関する 高齢者向け住まいおよび住ま 野村総合研究所が実施した

はサ高住では自立~要支援2 た、新規の入居時の要介護度 までの軽度者の割合が25%を 超えているのが実態である。

宅も14・0%見られる。 いるが、中には70%未満の住 の入居率は86・9%となって また、入退居の状況は有料 題である。入居者の募集方法 としては、在宅困難者の受け 居率を上げることが喫緊の課 入れ依頼としてケアマネジャ サ高住の運営者としては入

る契約終了」が最も多い。ま サ高住は「自宅」からが最も 退居については、「死亡によ 多く48・2%を占めている。 打ち出し、いつまでも患者を めに平均在院日数の短縮化を カー等への営業である。 国は、医療費を抑制するた

所」からの入居が最も多いが、

として病院のソーシャルワー

、退院患者の受け入れ依頼

老人ホームでは「病院・診療

うが病院の利益が増えるよう を治して患者を退院させたほ 入院させるのではなく、手厚 な政策誘導を図った。入院し い医療体制をとって早く病気 クンと下がるのである。その て2週間経つと診療報酬がガ もお断りするケースが多い。 る。しかし、サ高住に看護師 が常駐しているところは少な ームには看護師が常駐してい い入居希望者の紹介があって い。そのため医療依存度が高 一方で、在宅困難者の受け

早期退院を促す病院

看護師常駐がネック

シャルワーカーは有料老人ホ のである。 受け入れ先として病院のソー - ムやサ高住を紹介してく 退院を促された入院患者の が2011年にサ高住に入居 調査では、「今の住まいを探 する高齢者を対象に実施した

が施せる介護付き有料老人ホ る。人員基準として医療措置 4%が「子供・兄弟などの親 問いに対して半数近くの46・

が決めたという35・2%より 族」となっており、 %となっている。 も多くなっている。その一方 たのは、全体のわずか6・6 で「ケアマネジャー」と答え 一大

サ高住は、バリアフリーに 対応した高齢者向け スがついた施設で、 ムは介護等のサービ 活の自由度が高い。 の賃貸住宅であり牛 一方、有料老人ホー

ため、病院は早期退院を促す 入れ依頼先としてのケアマネ ジャーはどうなのか。大阪府 して決めた人は誰か」という それぞれ高齢者の状態や趣向 も親族の希望により入居が決 まるケースが多いようだ。 生活実態に基づいて本人より によって向き・不向きがある。 (齊藤伸宏G—VEC社長 つまり、サ高住は高齢者の





なる。介護保険サービスを利 などの生活支援や入浴・食事 宅で提供されるサービスは、 用する場合は、入居者が必要 サービスは、実費での負担と 食事・掃除・洗濯のサポート 否確認」と「生活相談」で、 **冨駐するスタッフによる 一安** 排せつといった介護などの サービス付き高齢者向け住 併設する施設の種類は、通所 8%となっている。

付き高齢者向け住宅の現状と 活支援施設が併設又は隣接し よると、一つ以上の高齢者生 分析を公表している。それに ているサ高住は約4分の3。

45・9%訪問介護事業所40・ 介護(デイサービス)事業所

5%、居宅介護支援事業所26

29年8月末時点でのサービス で選び、個別に契約して利用 に応じて外部の事業所を自分 高齢者住宅推進機構が平成 が利用するサービスの基本構 スが、サ高住において入居者 事業者による生活支援サービ スに加えて、介護保険サービ 大半のサ高住では、サ高住

することになる。

造となっている。もちろん、 介護保険サービスの利用につ %が利用しているという結果 が示されている。 ビリテーション事業は4・9

あることは言うまでもない。 利用者の自由な選択が前提で いては、介護保険法に基づき しかし、平成26年度老人保

健事業推進費等補助金老人保 同一グループの介護保険サ

している、あるいは、十分な 説明がなされないままサービ ービスの利用を入居の条件に

選択の自由保たれず 最適な利用を阻害

け住まいが果たしている機能 ービスを利用する入居者の割 では、併設・隣接している介 健健康増進等事業「高齢者向 合は多く、訪問介護事業は62 護保険事業所から介護保険サ ・役割等に関する実態調査」 スの利用が同一グループに集 という問題が発生し、個々の スの選択の自由が保たれない も指摘されている。いわゆる 中しているサ高住があること ここでは、介護保険サービ 囲い込み」である。

阻害される。具体的には、併 な介護保険サービスの利用が があるのにサ高住に併設され 護サービスを利用するニーズ 応が十分でないほか、通所介 の利用が中心となり夜間の対 設施設での介護保険サービス ていないため利用につ

ては、 込み」に問題があるとして、 取られているが、国は「囲い く対策を講じたいという意向 を示している。 次の報酬改定ではさらに厳し 介護報酬の減算措置が ながらない等の過小な とが挙げられる。 建物内の利用者につい サービス利用となる。 現在、事業所と同

0 0

入居者のニーズに合った適切

・4%、通所介護・通所リハ

、齊藤伸宏G—VEC社長)

る。家賃は、専有部分での居 賃・共益費・生活支援サービ 的な賃貸住宅と変わらず、家 ス費・食費が毎月の収入とな サ高住の収益構造は、一般 応サービス)②生活相談サー 日3回の食事を提供するため ビス費用である。食費は、 の費用として算定している。 他に、入居時にかかる費用と

住および共用部分の利用料

金。共益費は、①共同利用設

なる。

しては敷金だけということに

理費(エレベーター、空調機 など)③共同利用設備部分お よび共用部分の日用品費など 水費②設備定期点検・保守管 **偏部分および共用部分の光熱** が多い。

から一括借り上げするケース ース方式で事業運営者(オペ ,ーター)は施主(オーナー) 般的にサ高住は、サブリ

認、巡回サービス、緊急時対 ①状況把握サービス(安否確 の料金。サービス支援費は、 てみると次のようになる。 をサブリースタイプで算定し サ高住収益モデルイメージ

> を1室あたりの仕入家賃とし 主(オーナー)に支払う家賃 ペレーター)の事業収支は施 かであるが、事業運営者(オ て算出し、不動産事業として 冢賃設定をどれだけにする となる。また、共益費・生活支 それぞれの1カ月当たりの維 つては、不動産採算分岐点40 出るように設定する。食費に 持管理費に10%の事業収支が 援サービス費の価格設定は、

捉えると8%をオーナー保証 居室に喫食率9%を分岐点と

セグメント別収益 モデル構築が重要

として設定することが現実性 の高いビジネスモデルといえ 高くなる。つまり90%以上の する価格設定すると現実性が 喫食率があれば収益を確保で

る。居室数50室の場合、80% 人居が採算分岐点となる。つ オーナー支払いは16万円であ 例えば、家賃20万円の場合、 がある)。 場合は償却費を考慮する必要 備をオペレーターが設置した きるわけである(ちゅう房設

まり、40居室入居が採算分岐 このようにサ高住のハード

トごとに設定することが原則 となる。 面での事業収支は、セグメン

営者が増えている。それを補 るのである。 に家賃を低く設定する事業運 を行う事業運営者が増えてい みると入居率を確保するため しかし、昨今の傾向を見て 護保険サービスの利用をす と、前回述べたように、 ばならなくなる。そうなる 面での収益を確保しなけれ てんするためには、ソフト 居の条件にした「囲い込み

は難しくなる。 整わなければ、サ高住の運営 れセグメント毎の事業収支が ハード面とソフト面それぞ

**〈齊藤伸宏G─VEC社長〉** =毎週火曜日に掲載=



代が、医療や介護サービスを が全員75歳以上となる。これ 49年に生まれた「団塊の世代」 まで国を支えてきた団塊の世 2025年に、1947~ こうまくいく、高度成長時代 ている。 をけん引してきた人たちなの で、成功の秘訣(ひけつ)を

れで何が起こるのか。 受ける側に回るのである。そ

と言われ、高度成長期とバブ ルを経験した人たちが多く、 団塊の世代は恵まれた世代

世代は、何をやってもそこそ くの金融資産をためている。 る。また、他の世代よりも多 時代背景から見ても団塊の ・お金を払えば何を言っても 徴が表れるそうです。 ・自己主張が強く、口調がキ

年金の支給額も多い世代であ

勘違いした人が多いと言われ 我慢がきかず、感情のコント る。そこに団塊世代の特徴が ロールが難しくなる傾向にあ 抑える前頭葉の機能が落ち、 プラスされると次のような特 人は歳を重ねると、感情を

• 要望を言うのは当たり前だ 塊世代は「流行」という言葉

と考える。

とができない。

・権威や地位のある人の意見

基本的にせっかちで待つこって受け止めている。団塊世 代は、価値観が「成熟」より 「若さ」だと感じているので、

は聞くが、自分より若い世代 身奇麗に保ち、下の世代から ひとつをとってもADL(日

を、他の年代よりも重みを持 文化を好んできた。また、団 は納得しなくなる。リハビリ サービスでは入居者(利用者) のである。 を中心とした方々が混在する 支援サービスも十把一絡げの 食事をはじめ提供する生活

価値観違う世代が混在 個別サービスが必要に

の意見には耳を貸さない。 団塊の世代の消費動向をみ

のあるカジュアルなアメリカ め、上品さよりも若くて変化 のアメリカンカルチャーの影 ツイッギーやビートルズなど 響をたぶんに受けているた ても、ミニスカートの女王・ いる。 観を理解できる「団塊の世代」 言われる時代の方々と、価値

も認めてもらいたいと思ってる。つまり、個別メニューで

と受け入れられなくな

なっているかを明確に

で改善され何が課題に 目標に対して、どこま

フィードバックしない

常生活動作)が本人の

るサービスに「お蔭さま」と る高齢者住宅に入居する高齢 は二極化してくる。提供され 今後、サ高住をはじめとす ってくるのである。それがな の卓袱台(ちゃぶだい)がひ っくり返ることになる。 いと価値観が理解できる方々 のサービスの提供が必要にな

(齊藤伸宏G—VEC社長)

### しないための

これまで国を支えてきた団塊 世代」が全員75歳以上となり、

2025年問題。

「団塊の

の世代が、医療や介護サービ

ている。

につながることも期待される。 うすることで、医療費の削減

健康寿命とは健康上の問題

### う捉えていくべきか?その もの人材が不足すると言われ 問題の2025年には38万人 のまま手をこまねいていると サービス付き高齢者向け住宅 で増加しているのである。こ 事業と介護予防を一体的に実 の違いを表で見てみると次の に、この2025年問題をど 改めて、有料老人ホームと サ高住を存続させるため 厚生労働省は高齢者の保健 025年間 題を 方向性は

### 取り組みで差別化 健康寿命」延伸

護予防は介護保険で別々に行 われているが、これらを一体 につなげたい考えである。そ 的に実施し、健康寿命の延伸 ます=

ないわけではないが、要介護

者の数がそれを上回るペース

間的な状態は医療保険で、介

康な状態から要介護に至る中 施する方針を固めた。現在、健 る。また財源確保の他にもう

ようになる。(表)

は介護保険財源の問題であ

こうなると、問題になるの

ひとつ大きな問題がある。介

護を行う人材の確保である。

介護者の数は決して増えてい

てくる。

護が必要になる可能性すら出

方向性は?

くると、肉体的衰えから日本 特に後期高齢者の数が増えて 人を受ける側に回る。高齢者、

八口の1割が何らかの形で介

有料老人ホーム サ高住 主に介護を必要とする高齢者 施設の特徴 主に介護を必要としない自立し が、介護や生活支援を受けて居 た高齢者が様々な生活支援サ 住する施設 ビスを受けて居住する施設 入居条件 原則として 65 歳以上 原則として 60 歳以上 自立・要支援1~要介護5 主に自立〜軽度の要介護 費用 入居一時金:0~数千万円 敷金:家賃の2~5ヶ月分 月額費用:15~40万円 月額費用:10~30万円 居室面積 個室 13 ㎡以上 個室 原則 25 ㎡以上 ※条件を満たせば18㎡以上でも 主なサービス内容 介護サービス(食事、入浴、排せ 安否確認 生活相談 生活支援 つ)食事の提供 リハビリ、健康 (食事、掃除、買物代行など) 管理 レクリエーション 必要な医療・看護体制を整え対 対応可能なところもあるが、非 在宅酸素・バル-ン・胃瘻など医療 応可能なところが多い 常に少ない 依存度が高い方の 入居 契約方式 利用権方式 建物賃貸借契約

り、実現には保健事業と介護

以上延ばす目標を掲げてお 40年までに健康寿命を3年 歳となっている。政府は20 は男性72・14歳、女性74・79 れる期間のことで、平成28年 がない状態で日常生活を送ら

予防の一体的な実施が欠かせ

くなる。 き残りをかけていけな スを提供しない限り生 他と差別化したサー 健康寿命の延伸を考慮したサ

ビスの取り組みを行うなど

居するサ高住では、こうした

比較的介護度の低い方が入

**(**)

C社長) (齊藤伸宏G—VE

を

=次回は12月11日に掲載

### 人敗しないための

について次のように述べてい りまとめ概要によると、提供 のあり方に関する検討会のと 付き高齢者向け住宅の整備等 されるサービスの現状と課題 国土交通省によるサービス

9割、認知症自立度Ⅱ以上高 入居者は要介護高齢者が約

資格にバラツキ。 見守りサービスの人員体制

いやサービスの内容が分かり の生活支援サービスを提供。 有料老人ホームとの制度の違 約9%が食事提供や入浴等

選択できる環境整備が課題。 にくいおそれ。 →ニーズに合ったサービスを

設が併設され、必要に応じた 負担は困難。 込みや過剰な介護保険サービ サービスを提供。一方、囲い 将来的な入居者の要介護度 約7%に高齢者生活支援施 低所得高齢者の入居費用の ス提供のおそれ。 )重度化等への対応に課題。

→低所得高齢者向け住まいの

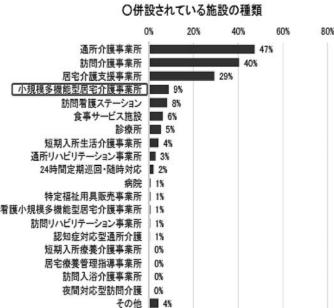
供給スキーム構築が課題。 現状、サ高住に併設されてい

ある。 る施設の種類は図のとおりで

9

は約8割。 施設が併設又は隣接している サービス付き高齢者向け住宅 一つ以上の高齢者生活支援

• 小規模多機能型居宅介護等



### **選べる。環境整備も** 、員体制・資格に違

では併設又は隣接されている の事務所については、現時点 割合は少ない。 また、サービス提供状況に

訪問入浴介護事業所 夜間対応型訪問介護 いずれかの高齢者生活支援施設 る。 %、通所介護・通所リハビリ 的介護度の低い方が入居する 看護では約23%となってい テーションでは約13%、訪問

次回(最終回)では、比較

る割合が、訪問介護では約16

ループの事業所を利用してい %。併設・隣接以外の同一グ は約2%、訪問看護では約12 通所リハビリテーションで を利用している割合は、訪問 入居者が、併設・隣接事業所 のサービスを利用する全ての ついてはバラつきがあるもの

介護では約35%、通所介護・

サ高住で生き残っていくため なサービスを提供して こととする。 いくべきかに言及する に他と差別化したどん

(齊藤伸宏G—VE

=次回は25日に掲載します

## 運堂

タイアした人が第二の人生を nity)」とは、仕事をリ irement Commu 健康的に楽しむ街として米国 uing Care Ret CCRC (Contin に、予防医療、健康支援、社 015年に政府が「生涯活躍 のまち」を目指す「日本版C 会参加などが緻密にプログラ CRC構想」を掲げて以降、 ム化されている。日本では2

> どの新たな職業が生まれ、地 域に雇用と税収をもたらす。 ラム開発、ホスピタリティな で、介護サービス事業所等の られることを目指しているの な時には継続的なケアを受け CCRCは医療介護が必要 ル、そこには居住者の健康維 設備を利用したり、サークル ・カラオケなど趣味を楽しむ の運動設備や、音楽スタジオ る。フィットネスクラブなど プログラムが提供されてい 持・増進を図るための多様な

ソーシャルワーカー、プログ CCRCでのライフスタイ た生活を送ることができる。

充実した生活支える

# 特色ある差別化経営

システム」のモデルケースと ば、高齢者が住み慣れた地域 れで対応することを想定して り、重介護になった場合もそ 設置などの体制は作ってお とを実現する「地域包括ケア で自分らしく暮らし続けるこ いる。要介護者が増えてくれ 体的にコミュニティーに参加 りなど、担い手としてより主 職業や趣味を生かして運営に 義受講、あるいは現役時代の 活動への参加、大学等での講 に勉強やものづくりを教えた 営したり、地域の子どもたち 参加したり、共同で店舗を運 し、生きがいを持って充実し

る。 て五つの要素で構成されてい ケアシステムは、大きく分け 国が実現を目指す地域包括

医療·看護

介護・リハビリテーショ

生活支援・福祉サ 予防•保健

ービス 住まいと住まい方

N o

な役割となる。 い方」こそが、サ高住の大き である。 この「住まいと住ま

くべきか。ここに重要なヒン トがありそうだ。 にいかなる差別化を図ってい 居するサ高住で生き残るため 比較的介護度の低い方が入 (齊藤伸宏G―VEC社長)

**=おわり**=

るべく介護にさせない」ため 的ケアの視点と併せて、「な くしたひとつの敷地での継続 る。介護移転リスクを払しょ 約3兆円という市場規模を誇 約2千カ所、居住者約70万人、

外の健康ビッグデータ分析、 る。さらに介護・ヘルパー以

険に依存した日本のシニア住

ロリ)の取り組みが、介護保 いわゆるPPK(ピンピンコ

宅と異なる逆転の発想であ

住み続けることができる場所

を指す。発祥の米国では現在

護にさせない、健康寿命延伸、 スト増になる。それゆえに介 ちに地方に移住し、必要な時 から生まれた概念。 元気なう

各地で拠点作りが始まった。

に医療と介護のケアを受けて

介護度が上がると事業者のコ

介護保険のない米国では、